

# 「幸いな人」

詩篇 1章

1

幸いなことよ悪しき者のはかりごとに歩まず罪人の道に立たず嘲る者の座に着かない人。

【主】のおしえを喜びとし昼も夜もおしえを口ずさむ人。その人は流れのほとりに植えられた木。時が来ると実を結びその葉は枯れずそのなすことはすべて栄える。

悪しき者はそうではない。まさしく風が吹き飛ばす秕殻だ。それゆえ悪しき者はさばきに罪人は正しい者の集いに立ち得ない。

まことに正しい者の道は【主】が知っておられ、悪しき者の道は滅び去る。 詩篇1:1-6

2



3



4



5